

# ソフトウェアの開発・運用保守に携わって

電気電子・情報系技術班 紙崎 諒大

## 1. はじめに

今年度から採用していただいた私自身に関することをまとめ、発表をさせていただく。前職ではプログラマーとして働かせていただいた。前職で扱っていた業務について述べていく。私のことについて少しでも知っていただければ幸いに思う。

## 2. 自己紹介

簡単に自己紹介を以下にまとめる。

名前：紙崎諒大

出身大学：愛媛大学理学部物理学科

前職：プログラマー

## 3. 前職について

### 3.1 大学システムの既存システム改修・新規システム作成

#### 3.1.1 既存大学システムの改修作業について

M 大学に前職の企業がシステムの提供・運用保守をさせていただいていたので、前職採用後約 1 年間常駐で作業をさせていただいた。その中で、半年以上携わらせていただいた内容は大学の予算、月次決算などの、決算システムの帳票出力変更対応であった。私が採用された年度にて、帳票の様式が変更になったため、帳票の出力内容を変更するものであった。利用したのは SQL と AccessVBA であった。

#### 3.1.2 新規大学システムの作成

3.1.1 で述べた作業の後、次の作業場へ移るまでの 1 月半の間で大学 IR に関するシステムの構築を行った。構築とは言うものの、新人であったため、仕様書等はすべて出来上がっており、コーディングの作業のみ行い、テスト作業は後任の方に任せ、次の作業場へ移ることとなる。実際、コーディングのみしか行わなかったため、後任の方には迷惑をかけてしまい、不具合の修正や作成したシステムの内容についての報告を行うために、次の作業場へ移った後も、業務終了後に何度か大学へ足を運んだ。

### 3.2 金融システム関連の開発・改修・運用保守

大学での作業の後に作業場が変更され、別の企業へ常駐勤務となった。その企業では、何社もの IT 企業の作業員が契約され、自分の会社や、派遣先の会社だけでなく、様々な企業の人と交流することができた。

#### 3.2.1 外為システムの WEB ページの開発・テスト

大学での作業の後に配属された企業で、まずは外為の WEB システムの作成、テストを先輩社員の方の下で行った。

WEB ページの開発は、エクセル VBA で自動化のツールを作り、出来上がった WEB ページを目視で確認しながら不備がないかの確認を行った。利用した言語はエクセル VBA と HTML である。ただし、HTML に関しては、自動化ツールで作成したものを利用し、さらに、用意されていた CSS を利用した WEB ページとなっていたので、自ら自作できるレベルには達することができていない。この作業は約 1 か月半の作業となった。

### 3.2.2 金融パッケージソフトの改修・運用保守

外為システムの作業が終了した後に、金融パッケージソフトの運用保守チームへと配属された。そこでは、既存のパッケージソフトの改修作業、パッケージソフトを卸している企業からの問い合わせ対応、パッケージソフトの HP の管理などの業務を行った。

まず、改修作業についてだが、新しい OS が出たときの動作修正や、お客様からの改善要望のうち類似項目が多いものの機能追加修正の作業を行っていた。また、パッケージソフトの修正後にバグが見つかった場合は、都度修正し、提供を行っていた。

次に HP の管理についてだが、上記の改修作業の終了の告知、最新バージョンのアップデートプログラムの提供などを行っていた。また、毎月提供しているデータも存在していたので、毎月の月初の朝には最新のデータをお客様が取得できるようにしていた。

最後に、問い合わせ対応について。基本的にはパッケージソフトを卸している企業様からの電話対応を行い、メールでの問い合わせ対応も数は少ないが行っていた。パッケージソフトは全国に販売していたため、北は北海道、南は鹿児島まで全国から問い合わせの電話がかかってくる。また、問い合わせの内容によっては、パッケージソフトの販売営業部門の方たちと話し合いを持つ機会も多かった。

このパッケージソフトは PC で利用することを目的として作成されていたが、タブレット端末で利用できる派生製品を開発し、運用を行っている。こちらの製品については別の開発チームが作られたため、作業の一部を手伝うのみにとどまった。

このパッケージソフトで利用したのは VB.NET がメインで、C++、C#を少し利用した。

### 3.3 その他の作業等

業務外の作業としてラズベリーパイを使ってみたことがある。OS をインストールし、少し動かしてみることにとどまったので、そこまで深く利用することがなかった。

また、運用保守の作業において電話対応を行うメンバーが複数人存在し、電話中にメッセージのやり取りを行う必要性があったため、最初はフリーのメッセージツールを利用していたが、フリーツールの利用が禁止されたため、離職直前にツールを C#で作成し、利用とテストをチームメイトにお願いした。

## 4. 今後について

採用していただいてもうすぐ半年がたとうとしている。ありがたくも現在いくつか仕事を任されているが、まだまだ分からないことだらけである。前職とは少し毛色が違う職であるので皆様にご迷惑をおかけすることが多々あると思うが、その時は優しくご教授いただければ幸いである。